

事 務 連 絡

令和7年12月11日

公益社団法人北海道トラック協会

専務理事 樋口 康弘 殿

北海道運輸局自動車技術安全部

保安・環境調整官

大型トラックの車輪脱落事故多発に伴う事故防止の徹底について（協力依頼）

日頃より自動車交通行政に対し、ご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

北海道運輸局では、年度当初より「車輪脱落事故ゼロ」を重点目標に掲げ、車輪脱落事故防止のため、適切なタイヤ交換作業と日常点検の実施についてお願いをしております。しかしながら、10月以降、事業用大型トラックにおける車輪脱落事故が少なくとも6件発生しており、年末年始の輸送の安全確保に向け、極めて危機的な状況にあります。

事故の原因としては、適正トルク管理の不足、増し締めの実施、点検の形骸化、運行管理者と整備管理者間の連携不足など、基本作業の徹底不足が原因として確認されています。運行のプロである事業用自動車の事故は社会的な影響も大きく、特に大型車の車輪脱落事故は甚大な被害をもたらします。

つきましては、事故防止のさらなる推進のため、保有する全車両について車輪・ナットの締付け状態、ホイールの損傷、ボルトの摩耗、各部の錆の発生状況等を重点に全数点検を実施し、交換や清掃が必要な箇所は正しい手順に則った作業を実施いただき、運行の際には点検ハンマー、インジケータ、マーカー等を活用したホイール・ナットの緩み点検及び適正トルクによる増し締めを徹底していただくよう、会員各社に対し改めて周知されるとともに、引き続き車輪脱落事故防止対策の積極的な取り組みをお願いいたします。